

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@東京with台北



(開催日：2020年11月24日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)

米中貿易摩擦の激化がここ暫くは一般的になることが予測される中、またコロナ禍をきっかけに、世界中でデジタルトランスフォーメーションの推進が声高に叫ばれています。

デジタルトランスフォーメーションで大きく遅れている日本でもようやく政府主導でその推進が計画され、今後スピード感をもって推進されることが予測されています。

一方でデジタルトランスフォーメーションで世界における位置づけを高められる可能性のある臺灣では、その機動力や国内外ネットワークを活かして日本よりもむしろ先行している分野が存在しています。

共通性の高い市民意識や従来からの深い交流はもとより、地政学的にも、今後の市場規模的にも、更なる相互補完や一体化の実現が望ましい臺灣と日本、米中貿易摩擦やコロナ禍を背景とした大転換点において、デジタルトランスフォーメーションの進展をリードする持続発展性のある新たなITビジネスを連携して創造するきっかけ作りを狙い、台湾經濟部でIT産業振興を担う専門組織の財団法人資訊工業策進会により本セミナーを開催いたします。

内容：台日事業連携の最新取り組み事例、台日連携での成功事例紹介、Q&A、フリーディスカッション、名刺交換

想定参加者：企業経営者、事業企画担当者、投資担当者などの皆さま

参加費：無料（事前登録制）

参加人数：（会場）30名様限定（オンライン）遠隔地の方のみに限定

会場環境：台湾から資訊工業策進會政策顧問や企業経営者・企画担当者クラスの方々のオンライン参加を想定
* 臺灣からコロナ禍対策を施した会場、着席セミナースタイル、オンライン会議対応、同時通訳対応、

対象領域

教育

マーケティング

暮らし

行政

健康

働き方

住まい

遊び

その他

ロボティクス

データ分析

SDGs

セキュリティ

IoT

ゲーム

5G

参加者限定

無料ご紹介



米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@東京with台北

(開催日：2020年11月24日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進會)



セミナープログラム・登壇者について

時間	内容	登壇者
13:50	開場	
14:00-14:05	開会挨拶、プログラム案内	財団法人資訊工業策進會
14:05-14:30	IT領域における台湾政府の政策紹介 台湾のIT領域における先進的な取り組み紹介	財団法人資訊工業策進會
14:30-14:55	これまでの台日連携の成功事例紹介 デジタルトランスフォーメーションで今後想定される台日連携の形	台湾經濟部技術処
14:55-15:00	コーヒースブレイク	
15:00-16:10	デジタルトランスフォーメーションで先陣をきる台湾企業の取り組み	NUWA Robotics ONSENSE VBIP ほか
16:10-16:30	台湾投資環境、人材環境	財団法人資訊工業策進會
16:30-17:00	Q&A / 台日参加者の交流	
17:00-17:10	相談先のご案内、閉会挨拶	

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@東京with台北

(開催日：2020年11月24日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)



会場について

TOKYO AMERICAN CLUB

〒106-8649 東京都港区麻布台2-1-2

東京

TOKYO AMERICAN CLUB



東京アメリカンクラブは1928年に設立された90年の歴史を持つ伝統ある会員制国際クラブです。会員数は1万名以上、その国籍は世界50か国以上にわたります。2011年1月、パリ・クラーク・ペリアーキーテックツにより『大きな家』を基本コンセプトにデザインされた壮麗な施設が麻布台に誕生しました。
当施設はアジアNo.1プレミアムクラブを目標に掲げ、様々な国籍のスタッフが国際色豊かなお客様に多彩できめ細かなパーソナルサービスを提供しており、イベントスペース、レストラン、客室、スパ&フィットネス、ボウリング場、ライブラリー、スカイプールなどを備えています。

現在、クラブではすべてのゲストと従業員を守るため一連の[安全対策](#)を実施しています。

(本会場の特徴)

- ・会員は大使や企業トップなどの利用が多いステータスの高い会員施設で、ホテルなどとは違い一般の方は入れません。
- ・ステータスの高い会員施設ゆえにコロナ対策もしっかりしています。
- ・名称通りアメリカ寄りの施設で、昨今の台湾を取り巻く情勢からメッセージ性ある施設でもあります。

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@沖縄with台北



(開催日：2020年12月3日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)

米中貿易摩擦の激化がここ暫くは一般的になることが予測される中、またコロナ禍をきっかけに、世界中でデジタルトランスフォーメーションの推進が声高に叫ばれています。

デジタルトランスフォーメーションで大きく遅れている日本でもようやく政府主導でその推進が計画され、今後スピード感をもって推進されることが予測されています。

一方でデジタルトランスフォーメーションで世界における位置づけを高められる可能性のある臺灣では、その機動力や国内外ネットワークを活かして日本よりもむしろ先行している分野が存在しています。

共通性の高い市民意識や従来からの深い交流はもとより、地政学的にも、今後の市場規模的にも、更なる相互補完や一体化の実現が望ましい臺灣と日本、米中貿易摩擦やコロナ禍を背景とした大転換点において、デジタルトランスフォーメーションの進展をリードする持続発展性のある新たなITビジネスを連携して創造するきっかけ作りを狙い、台湾經濟部でIT産業振興を担う専門組織の財団法人資訊工業策進会により本セミナーを開催いたします。

内容：台日事業連携の最新取り組み事例、台日連携での成功事例紹介、Q&A、フリーディスカッション、名刺交換
想定参加者：企業経営者、事業企画担当者、投資担当者などの皆さま

参加費：無料（事前登録制）

参加人数：（会場）20名様限定（オンライン）遠隔地の方のみに限定

会場環境：臺灣から資訊工業策進会政策顧問や企業経営者・企画担当者クラスの方々のオンライン参加を想定、
コロナ禍対策を施した会場、着席セミナースタイル、オンライン会議対応、同時通訳対応、

参加者限定
無料ご紹介



対象領域

教育

マーケティング

暮らし

行政

健康

働き方

住まい

遊び

その他

ロボティクス

データ分析

SDGs

セキュリティ

IoT

ゲーム

5G

IT領域キーワード

AI

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@沖縄with台北

(開催日：2020年12月3日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進會)



セミナープログラム・登壇者について

時間	内容	登壇者
12:50	開場	
13:00-13:10	開会挨拶、プログラム案内	財団法人資訊工業策進會
13:10-13:40	IT領域における台湾政府の政策紹介 台湾のIT領域における先進的な取り組み紹介	財団法人資訊工業策進會
13:40-14:20	これまでの台日連携の成功事例紹介 デジタルトランスフォーメーションで今後想定される台日連携の形	台湾經濟部技術処 沖縄DX
14:20-14:30	コーヒーブレイク	
14:30-15:15	デジタルトランスフォーメーションで先陣をきる台湾企業の取り組み	NUWA Robotics ONSENSE VBIPほか
15:15-15:35	台湾投資環境、人材環境	財団法人資訊工業策進會
15:35-16:00	Q&A / 台日参加者の交流	
16:00-16:10	相談先ご案内、閉会挨拶	

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@沖縄with台北

(開催日：2020年12月3日・主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)



会場について



沖縄IT津梁パークは、沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点となるためのビッグプロジェクトです。

「津梁」とは、アジアとの架け橋を意味しています。

沖縄県における情報通信産業振興の推進拠点として、

・我が国における情報通信産業活性化と国際競争力向上への寄与

・沖縄県における雇用創出の先導

・日本とアジアを結ぶITブリッジ(IT津梁)の役割を果たす

・IT産業のテストベッドを提供する

・日本とアジアに必要な高度なIT人材の創出集積を担う

・優れたリゾート&IT就業環境を提供する

(本会場の特徴)

- ・IT企業が集積する場所に位置し、混雑もない広い空間でのセミナー開催が可能です。
コロナ禍のなかでも比較的しっかりとしたコロナ禍対策を施した会場です。
(・行政管理ゆえにコロナ対策もしっかりしています。)
- ・沖縄県がIT分野のアジア連携拠点と位置付けている場所ですので、開催場所としてのメッセージ性も高い場所です。
- ・十分な駐車スペースがあります。

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで

台日連携ITビジネス創造セミナー@東京/沖縄with台北



(開催日：2020年11月24日(東京)/12月3日(沖縄)・主催：主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)

台湾經濟部について

台湾經濟部は、台湾の行政院に属する産業に関する経済全般を担当する省庁。日本の経済産業省に相当します。技術処は台湾經濟部においてIT分野をはじめとした様々な先進技術の創造や発展に寄与するための専門部署です。

財団法人資訊工業策進會について

財団法人資訊工業策進会 (Institute for Information Industry, 略称：III) は1979年7月24日、民間、政府が共同で創設した法人組織 (NPO：Nonprofit Organization) であり、「情報技術有効利用の推進、国家全体の競争力向上、情報産業発展環境及び条件の充実、情報産業競争力の増強」を使命としています。

近年は台湾におけるデジタル経済の発展をリードするため、「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の補佐役 (Digital Transformation Enabler) を新しい価値として位置づけています。シンクタンク、人材育成、研究開発及び実行力などを積極的に統合し、産業ニーズに合致するソリューション、応用サービスを発展させ、政府ならびに産業のデジタルトランスフォーメーション促進に努めています。

40年来、資策会は無から有へと、各種政府情報システムを設置し、産業発展を支えるテクノロジ人材を育成してまいりました。また情報通信産業技術の研究開発及び産業政策の立案、推進にも尽力し、その成果と貢献は各界から高く評価されています。

米中貿易摩擦の中でのデジタルトランスフォーメーションは台日連携がカギ

AI・ロボティクスからIoT・ゲーム・デジタルマーケティングまで
台日連携ITビジネス創造セミナー@東京/沖縄with台北

(開催日：2020年11月24日(東京)/12月3日(沖縄)・主催：主催：台湾經濟部技術処・財団法人資訊工業策進会)

登壇者：NUWA Robotics について

NUWA Robotics Inc. はグループ統括会社をケイマン諸島に置き、台湾、中国、香港に拠点会社を持つAIを用いた小型コミュニケーションロボットメーカーで、主要株主は、鴻海精密工業やXiaomi (シャオミ) などです。2019年台湾でAI教育用ロボットKebbi Airを展開、発売開始30分で予約数1,000台を超え、2020年3月までの累計販売台数は6,000台、台湾国内約500校の学校の授業に取り入れられる予定です。

登壇者：OSENSE VBIPについて

OSENSE VBIPは人工知能を用いた人工的知覚にフォーカスした高い専門性を持つスタートアップ企業です。空間認識と測位技術を融合し、AIの「全感知」の基盤を作成し、各業界の抱える問題を解決するため業界パートナーと共に総合的な解決策を生み出します。合わせて、パートナー企業の業界におけるティア1ブランドにイノベーションを起こすための長期的な協力関係とビジネスモデルを構築します。

ご参考) 台湾經濟部の取り組み実績について

科学技術分野のアカデミー賞と称され、過去1年間に実用化された最も優れた製品・技術を100件選出して表彰する米「R&D 100 Award」が発表され、經濟部（日本の経済産業省に相当）技術処が実施する「科技專案計画（科学技術プロジェクト）」に参加する財団法人工業技術研究院（工研院、ITRI）、財団法人資訊工業策進会（III）、金属工業研究发展中心、財団法人紡織産業総合研究所の4つの政府系研究機関、5項目の技術が受賞した。

「科技專案計画（科学技術プロジェクト）」に参加し、「R&D 100 Award」を受賞した台湾の技術は、工業技術研究院の「RAIBA - Reconfigurable and Regulatable Battery Array System（=再構成と調整が可能なバッテリー・アレイシステム）」と磁性ビーズ製造技術「iKNOBEADS」、財団法人資訊工業策進会の「Digital Twin Solutions for Smart Farming（スマート農業のためのデジタルツインソリューション）」、財団法人紡織産業総合研究所のエアジェット織機「DIFA(Distance Fabric)」、金属工業研究发展中心の無人搬送車「Bionic Intelligent AGV Fleet System」で、それぞれ国立台湾大学医学院附設医院（=病院）、致茂電子（Chroma）、台塩緑能、アパレルの秀平公司などの医療施設や民間企業と協力し、プロジェクト成果の商用化を目指している。

スイス・ジュネーブに本部を置く世界経済フォーラム（WEF）は、各国の競争力を格付けする『世界競争力ランキング』で、台湾を世界四大「super innovators（スーパー・イノベーター）」の1つに挙げた。台湾の政府系研究機関は、政府が実施する「科技專案計画（科学技術プロジェクト）」の支援を受け、その技術革新能力で産業の持続可能な発展を推進し、台湾の各産業や国家の競争力を押し上げている。2018年、このプロジェクトによって創出された民間企業による投資額は577億台湾元（約2,060億日本円）に達した。政府がこのプロジェクトで投入した経費1台湾元（約3.5日本円）に対して、4.39台湾元（約15日本円）の投資効果が生まれた計算になる。また、現在までにこのプロジェクトによって生まれた特許や移転可能な技術は3万件近くに達しており、企業のR&Dニーズを十分に満たしている。

このプロジェクトから生まれた新たな技術は、12年間連続で「R&D 100 Award」を受賞している。過去12年間で同賞を受賞した技術は53項目。そのうち9割以上が、多国籍企業や台湾の企業に移転されている。また、受賞した新技術をもってスピンオフしたスタートアップ企業も多く、こうしたスタートアップが新技術の商用化を実現している。